

学生に人気の地域医療研修

酒井 和久

【目的】 隠岐島前病院では、医学生5,6年生の地域医療実習の受け入れを行っている。2,3週間で、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士のもとでの研修や、サービス調整会議への出席、地域包括ケアセンターでの実習など多職種から学ぶスケジュールをとっている。学生内で当院での研修の評判がよく、研修内容を振り返り、どこに満足感を得ていたかを検証する。

【方法】 平成24年度に受け入れを行った医学生14名に研修後アンケートを行った。

【結果】 病院全体の総合評価としては非常に満足が9割を占めた。内容において外来実習は非常に満足が6割を占め、訪問実習は非常に満足が8割を占めていた。自由記載の中では、「予想よりも充実した医療が提供されている」「医療・福祉・介護の連携」「職種間の垣根が低い」「スタッフと患者との距離が近い」「スタッフが魅力的」「自分が医師になろうと思ったその原点に戻れた」などの記載があった。

【結論】 大学病院で学ぶ学生にとって、地域医療実習では実地研修でしか得られない知識や経験が得られ、満足度が高い。なかでも往診、訪問看護、訪問リハビリテーション、訪問薬剤指導などの訪問実習の満足度が高いことがわかった。